

2年生から6年生の児童のみなさん、進級、おめでとうございます。新しい学年への期待や希望でいっぱいだと思います。一方で、先月の19日にお別れした6年生や、24日にお別れした担任の先生や、一年間ともに過ごした友達とも、いったんお別れをして、寂しさと不安が入り混じったような、そんな複雑な気持ちで過ごしてきた人もいるのではないかと思います。

朝、新しいクラスの発表がありました。そして、今、新しい担任の先生を発表しました。仲のいい友達と一緒に、うれしい気持ちでいる人もいるかもしれませんが、仲のよかった友達と離れてしまって、寂しいと感じている人がいるかもしれません。あるいは、昨年、お世話になった先生が違うクラスの担任の先生になってしまって、このことでも、寂しいと感じている人がいるかもしれません。

みなさん、この気持ちは、先生方も同じなんです。ただ、先生方は、「寂しいと感じる気持ち」と、「うれしいと感じる気持ち」の両方を同じようにもっています。そして、「寂しいと感じる気持ち」を大切にするために、一生懸命に準備をして、今日の皆さんとの「新しい出会い」や「再会」を喜びに変えました。

校舎の中を見せていただきました。いろいろなところに、みなさんが一生懸命に活動している様子がわかる掲示物がたくさんありました。写真もありました。そんな掲示物や写真を見ていたら、コロナ禍のなかでも、みなさんが先生方や友達と一緒に、楽しい学校生活をつくり出している様子が目に浮かびました。

廊下を歩いていたら、今、みなさんの目の前にいる担任の先生が、掃き掃除や拭き掃除をしたり、傘を移動したり、教室の荷物を運んだり片付けたり、机の数を確認したり、ロッカーの中を確認したり、何種類もの配付物を机の上に配ったり、座席が一目でわかるような掲示物を作成したりと、学年に応じたさまざまな準備を一生懸命に行っていました。水道の所を通りかかると、肌寒い中、長い時間をかけて一生懸命にきれいにしている先生の姿もありました。

校庭に出ってみました。花壇やプランターの花が、とってもきれいでした。近付いてみると、黄色や、白や、紫や、オレンジ色などのパンジーが色とりどりに咲いていました。チューリップも咲いていました。見とれていたら、ある先生が花の手入れをしてくださっている姿に気付きました。話しかけましたら、こんなことをおっしゃっていました。「気温が高くなってきて、アブラムシが出てきてしまっているんですよ。」この言葉で、花の手入れは、この日だけではなく、毎日、長い時間と手間をかけて行ってくださっていたことに気付きました。

校庭から戻って、昇降口を見てみました。昇降口は2つあるんですね。2つの昇降口のどちらにも、靴箱の上いっぱい、ここにも手入れが施された色とりどりのサイネリアが見事な花を咲かせていました。

これらは、すべて、みなさんの進級をお祝いする気持ちを表したものです。

すべての先生方の準備の様子をお伝えすることはできませんが、すべての先生方が、それぞれの持ち場で、みなさんの進級をお祝いするために準備をしてきました。このことをみなさんにしっかりと伝えておきます。

諸川小学校の先生方は、素晴らしい先生方ばかりですね。校長先生は、とっても誇りに思います。

そして、みなさんが進級したことを、とってもうれしく思います。

明日は、新しい一年生が入ってきます。

「新しい出会い」と「再会」に感謝をしながら、令和3年度をスタートさせていきましょう。

一年間、よろしくお願いいたします。